

公益社団法人 日本リハビリテーション医学会

令和5年度 事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

1. 会員現況

	令和6年3月31日	令和5年3月31日	増減
会員総数	11,270名	11,298名	▲28名
医師	10,813名	10,877名	▲64名
医師以外	296名	294名	+2名
専門職会員	161名	127名	+34名

(名誉会員・功労会員含む)

物故会員

あべしげと いたのぶお いのうえひろし いのうえゆうきち えんやはるよし おおぼじゅんいち おがたふみとも
阿部重人、伊藤信男、井上博、井上雄吉、塩谷敏義、大場淳一、尾形文智、
かなたによしあき くにさとようこ こうのちかを さとうとくたろう すずきつねひこ
金谷整亮、國里洋子、河野親夫(功労会員)、佐藤徳太郎(功労会員)、鈴木恒彦(功労会員)、
たむらたけし なかじまこと はんだやすのぶ ふじわらきよし ふなやまさかず まじまあきひさ まつかゆたか まつばらひろあき
田村武司、中嶋真、半田康延、藤原潔、舟山正和、馬島瑩郷、松家豊、松原弘明、
むねもとみつる もりえいじ もりもとあきお やぎやすひろ やすだけんいち りきたただよし
宗本充、森英二、森本章夫、八木康公、安田賢一、力田忠義

(50音順、敬称略)

2. 役員、代議員、各委員会委員

役員

理事長1名 副理事長5名 理事14名 監事3名

代議員

348名

各委員会委員

① 先端医療・機器委員会	10名
② 男女共同参画委員会	10名
③ 顕彰制度委員会	9名
④ 社会保険委員会	9名
⑤ 教育委員会	8名
⑥ 障がい者福祉委員会	6名
⑦ 研修会等委員会	11名
⑧ 認定委員会	12名
⑨ 評価・用語委員会	10名
⑩ 広報委員会	12名
⑪ 危機管理・利益相反委員会	9名
⑫ ICF・データマネジメント委員会	8名
⑬ 倫理委員会	7名

⑭ 国際委員会	7名
⑮ 国内誌編集委員会	14名
⑯ 国際誌編集委員会	11名
⑰ 診療ガイドライン委員会	6名
⑱ 試験委員会	18名
⑲ 専門医制度委員会	12名
⑳ 財務委員会	7名
㉑ 会則検討委員会	10名
㉒ 選挙制度検討委員会	8名
㉓ 選挙管理委員会	9名

3. 学術集会の開催について

- (1) 第60回日本リハビリテーション医学会学術集会を、令和5年6月29日(木)～7月2日(日)の4日間、福岡国際会議場、福岡サンパレスおよび福岡国際センターにて開催し、オンデマンド配信を7月18日(火)～8月28日(月)に行った。
- (2) 第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会を、令和5年11月3日(金)～5日(日)の3日間、シーガイアコンベンションセンターにて開催し、オンデマンド配信を11月22日(水)～12月15日(金)に行った。

4. 諸会議

- (1) 代議員総会の開催
定時代議員総会 令和5年6月28日
- (2) 理事会の開催
 - 第1回 令和5年5月27日
 - 第2回 令和5年6月28日
 - 第3回 令和5年7月29日
 - 第4回 令和5年9月30日
 - 第5回 令和5年11月3日
 - 第6回 令和5年12月12日(臨時)
 - 第7回 令和6年1月27日
 - 第8回 令和6年3月16日
- (3) 理事長直轄委員会の開催
 - 1) バラスポーツ委員会 6名
2回
 - 2) 専門医委員会(令和5年11月4日解散) 9名
2回
 - 3) 関連専門職委員会 6名
2回
 - 4) 学術集会検討委員会 13名
3回
 - 5) 教材作成委員会 1名
今年度の開催なし
 - 6) 将来構想委員会 12名
今年度の開催なし

(4) 各委員会の開催

1) 先端医療・機器委員会	メールや電話で意見交換を実施
2) 男女共同参画委員会	6回 (他メール審議を1回実施)
3) 顕彰制度委員会	1回
4) 社会保険委員会	10回
5) 教育委員会	4回 (他メール審議を適時実施)
6) 障がい者福祉委員会	2回 (他メール審議を適時実施)
7) 研修会等委員会	4回 (他メール審議を7回実施)
8) 認定委員会	3回 (他メール審議を適時実施、 試験委員会と合同のKV委員会を1回開催)
9) 評価・用語委員会	8回 (他メール審議を1回実施)
10) 広報委員会	4回 (他メール審議を適時実施)
11) 危機管理・利益相反委員会	4回
12) ICF・データマネジメント委員会	メール審議を適時実施
13) 倫理委員会	今年度の開催なし
14) 国際委員会	メール審議を適時実施
15) 国内誌編集委員会	6回 (他メール審議を適時実施)
16) 国際誌編集委員会	4回 (他メール審議を適時実施)
17) 診療ガイドライン委員会	メール審議を適時実施
18) 試験委員会	8回 (他認定委員会と合同のKV委員会を1回開催)
19) 専門医制度委員会	3回 (他メール審議を2回実施)
20) 財務委員会	今年度の開催なし
21) 会則検討委員会	8回
22) 選挙制度検討委員会	今年度の開催なし
23) 選挙管理委員会	1回 (他メール審議を4回実施)

(5) 全国医学部リハビリテーション科連絡会の開催

令和5年11月4日(土)にシーガイアコンベンションセンターにて、リハビリテーション科領域の研修プログラム制およびカリキュラム制、令和5年度の専攻医採用状況、令和6年度の専攻医募集スケジュール、日本専門医機構のシーリングおよびダブルボードの基本的な考え方等について、リハビリテーション科領域・医学会としての動向等の説明と意見交換を行った。

5. 辞令発送について

理事長名で辞令発送
各委員会委員(特別委員等を含む)220名

6. 後援、協賛等依頼

(1) 令和5年度リウマチの治療とケア教育研修会 (公益財団法人 日本リウマチ財団)	後援
(2) 第63回静岡リハビリテーション懇話会 (静岡リハビリテーション懇話会)	後援
(3) 令和5年度義肢装具等適合判定医師研修会 (国立障害者リハビリテーションセンター)	後援
(4) 第59回日本交通科学学会 学術講演会 (一般社団法人 日本交通科学学会)	後援

- | | |
|---|--------------|
| (5) 令和5年度リウマチ月間リウマチ講演会
(公益財団法人 日本リウマチ財団) | 後援 |
| (6) 第57回日本作業療法学会
(一般社団法人 日本作業療法士協会) | 後援 |
| (7) 九州作業療法学会 2023 in 鹿児島
(九州作業療法士会長会) | 後援 |
| (8) きょうされん第46回全国大会 in 埼玉
(きょうされん) | 後援 |
| (9) ヒューマンインタフェースシンポジウム 2023
(ヒューマンインタフェース学会) | 協賛
(負担なし) |
| (10) 第31回日本慢性期医療学会
(一般社団法人 日本慢性期医療協会) | 後援 |
| (11) リハビリテーション・ケア合同研究大会 広島 2023
(一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会
一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会
一般社団法人 全国デイ・ケア協会
一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会
全国地域リハビリテーション支援事業連絡協議会
全国地域リハビリテーション研究会) | 後援 |
| (12) リハ職のための認知症ケア講座
(一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会) | 後援 |
| (13) 第37回リハ工学カンファレンス in 東京
(一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会) | 後援 |
| (14) 令和5年度運動療法機能訓練技能講習会
(公益社団法人 全国病院理学療法協会) | 後援 |
| (15) 2023年度脳卒中月間ポスター
(公益社団法人 日本脳卒中協会) | 後援 |
| (16) H.C.R. 2023 第50回国際福祉機器展&フォーラム
(社会福祉法人 全国社会福祉協議会/一般財団法人 保健福祉広報協会) | 協賛
(負担なし) |
| (17) 第10回全国介護・終末期リハ・ケア研究会研究大会 2023 in 東京
(全国介護・終末期リハ・ケア研究会) | 後援 |
| (18) 2023(令和5)年度てんかんを正しく理解する月間(てんかん月間 2023)
(公益社団法人 日本てんかん協会) | 協賛
(負担なし) |
| (19) 第45回総合リハビリテーション研究大会
(公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会) | 後援 |
| (20) 第72回日本理学療法学会
(公益社団法人 全国病院理学療法協会) | 後援 |
| (21) 第12回日本がんリハビリテーション研究会
(日本がんリハビリテーション研究会) | 後援 |
| (22) 第24回日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 山形
(一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会) | 後援 |
| (23) 第48回 全国デイ・ケア研究大会 2024 in 札幌・北海道
(一般社団法人 全国デイ・ケア協会) | 後援 |
| (24) 第65回日本神経学会学術大会シンポジウム
(一般社団法人 日本神経学会) | 後援 |
| (25) 第58回日本作業療法学会
(一般社団法人 日本作業療法士協会) | 後援 |
| (26) 第5回福祉用具専門相談員研究大会
(一般社団法人 日本福祉用具供給協会) | 後援 |

(27) 第28回バイオメカニズム・シンポジウム in 金沢 (バイオメカニズム学会)	後援
(28) 第45回バイオメカニズム学術講演会 (SOBIM2024 in 調布) (バイオメカニズム学会)	後援
(29) 第64回静岡リハビリテーション懇話会 (静岡リハビリテーション懇話会)	後援
(30) 令和6年度リウマチの治療とケア教育研修会 (公益財団法人 日本リウマチ財団)	後援
(31) 令和6年度リウマチ月間リウマチ講演会 (公益財団法人 日本リウマチ財団)	後援
(32) 第11回ロボット大賞 (経済産業省)	協力

7. 医学会誌の発行

- (1) 国内誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」第60巻第4号～第12号、計8冊、第61巻第1号から完全オンライン化し、第1号～第3号をオンラインジャーナルとして発行した。第60回学術集会プログラム・抄録集、第7回秋季学術集会プログラム・抄録集を発行した。
- (2) 国際誌「Progress in Rehabilitation Medicine」(オンラインのみ)を運営し、令和5年(暦年)は新規に47編の投稿論文を掲載した。

8. 広報誌の発行

会員、医療・介護関連従事者への広報を目的に、「日本リハビリテーション医学会ニュースNEXT!」4号を発行した。

9. ホームページの管理・運営

各委員会からの要請に対応し、随時、ホームページにて広報した。

10. 教育及び研修

(1) 卒後実習研修会

- ・脊損尿路管理研修会
期 日 令和5年12月2日、3日
会 場 総合せき損センター
受講者数 13名

- ・義手・義足適合判定医師研修会アドバンスト・コース
期 日 令和5年9月10日、11日、10月30日
会 場 岡山国際交流センター等
受講者数 13名

- ・小児のリハビリテーション実習研修会
期 日 令和5年10月13日、14日
会 場 北九州市総合療育センター
受講者数 14名

- ・臨床筋電図・電気診断学入門講習会
期 日 (オンライン講義)令和5年9月15日～10月13日、(現地実習)10月14日
会 場 慶應義塾大学病院リハビリテーション室およびオンライン開催
受講者数 56名

- ・職業リハビリテーション研修会
期 日 令和5年10月15日、16日
会 場 岡山国際交流センター等
受講者数 7名

- ・嚥下障害実習研修会
期 日 令和5年10月14日、15日
会 場 浜松市リハビリテーション病院
受講者数 34名

- ・動作解析・運動学実習研修会
期 日 令和6年3月8日、9日
会 場 藤田医科大学
受講者数 11名

- ・リハビリテーションに活かす医療コーチング研修会
期 日 令和6年2月3日、4日
会 場 オンライン開催
受講者数 43名

- ・臨床研修デザイン研修会
期 日 令和5年8月12日、13日
会 場 オンライン開催
受講者数 20名

(2) 学術集会における研修会

期 日 令和5年6月29日～7月2日

(オンデマンド配信：令和5年7月18日～8月28日)

会 場 福岡国際会議場、福岡サンパレス、福岡国際センターおよびオンデマンド配信

受講者数 1,344名

(3) 秋季学術集会における研修会

期 日 令和5年11月3日～5日

(オンデマンド配信：令和5年11月22日～12月15日)

会 場 シーガイアコンベンションセンターおよびオンデマンド配信

受講者数 666名

(4) 実践リハビリテーション医学研修会

・脳血管障害・外傷性脳損傷

期 日 令和5年8月26日

会 場 オンライン開催

受講者数 39名

・運動器疾患

期 日 令和5年10月8日

会 場 オンライン開催

受講者数 28名

・摂食嚥下障害

期 日 令和6年2月18日

会 場 オンライン開催

受講者数 80名

(5) 急性期・回復期リハビリテーション医師研修会

・令和5年度「急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会」

期 日 令和5年8月5日、6日

会 場 オンライン開催

受講者数 108名

・令和5年度「回復期リハビリテーション病棟専従医師研修会【アドバンスコース】」

期 日 令和6年2月3日、4日

会 場 オンライン開催

受講者数 288名

(6) 生涯教育研修会

・日本リハビリテーション医学会主催「共通講習会」

期 日 令和5年7月1日、2日

(オンデマンド配信：令和5年7月18日～8月28日)

会 場 福岡国際会議場、福岡サンパレス、福岡国際センターおよびオンデマンド配信

受講者数 549名

期 日 令和5年11月4日、5日

(オンデマンド配信：令和5年11月22日～12月15日)

会 場 シーガイアコンベンションセンターおよびオンデマンド配信

受講者数 246名

・北海道ブロック

期 日 令和5年4月22日
会 場 札幌医科大学教育研究棟 1階 D101 講義室
受講者数 29名

期 日 令和5年9月30日
会 場 札幌医科大学教育研究棟 1階 D101 講義室
受講者数 28名

・東北ブロック

期 日 令和5年10月7日
会 場 いわて県民情報交流センター（アイーナ）およびオンライン開催
受講者数 38名

期 日 令和5年10月22日
会 場 青森県観光物産館アスパムおよびオンライン開催
受講者数 33名

期 日 令和6年3月23日
会 場 東北大学医学部6号館1階 講堂およびオンライン開催
受講者数 42名

・関東ブロック

期 日 令和5年9月10日
会 場 障害者スポーツ文化センター横浜ラポールおよびオンライン開催
受講者数 85名

期 日 令和5年10月7日
会 場 新潟大学医学部有壬記念館
受講者数 13名

期 日 令和6年2月17日
会 場 群馬大学医学部附属病院アメニティ講義室
受講者数 20名

期 日 令和6年3月3日
会 場 帝京大学医学部 臨床大講堂 本部棟2階
受講者数 78名

期 日 令和6年3月9日
会 場 国立病院機構 甲府病院
受講者数 7名

・北陸ブロック

期 日 令和5年8月26日
会 場 TKP ガーデンシティ PREMIUM 金沢駅西口
受講者数 22名

期 日 令和6年3月9日
会 場 金沢大学附属病院内 CPD センター
受講者数 23名

・中部・東海ブロック

期 日 令和5年9月9日
会 場 オンライン開催
受講者数 72名

期 日 令和6年2月3日
会 場 名古屋市立大学病院 中央診療棟 3階 大ホール
受講者数 31名

・近畿ブロック

期 日 令和5年9月17日
会 場 森ノ宮医療大学講堂 東棟1階 コスモホール
受講者数 38名

期 日 令和5年10月7日
会 場 京都府医師会館
受講者数 18名

期 日 令和5年11月18日
会 場 兵庫県民会館 けんみんホール
受講者数 19名

期 日 令和6年3月10日
会 場 杉浦地域医療研究センターおよびオンライン開催
受講者数 57名

・中国・四国ブロック

期 日 令和5年8月6日
会 場 米子コンベンションセンター
受講者数 38名

期 日 令和5年12月3日
会 場 徳島県医師会館
受講者数 18名

・九州ブロック

期 日 令和5年9月10日
会 場 福岡大学メディカルホール
受講者数 30名

期 日 令和6年2月18日
会 場 鹿児島大学医学部 鶴陵会館
受講者数 39名

(7) e-learning の開講

3講座(20コンテンツ)を追加し、延べ535名の会員が受講した。

(8) テキストの監修

リハビリテーション科医および関連専門職の教材として、本医学会監修によるテキストを2冊出版した。

1) リハビリテーション医学・医療における処方作成テキスト(令和5年6月)

2) 急性期のリハビリテーション医学・医療テキスト第2版(令和6年3月)

1 1. 専門医、認定臨床医の認定

(1) 令和5年度(7月7日、8日実施)専門医認定者数	116名
令和6年3月末現在専門医数	2,911名
(2) 令和5年度(7月7日実施)認定臨床医認定者数	87名
・認定臨床医試験による認定者数	33名
・日本整形外科学会との連携により、日本整形外科学会運動器リハビリテーション医を対象とする認定臨床医資格取得講習会での認定者数	54名
令和6年3月末現在認定臨床医数	3,835名

1 2. 指導医の認定

令和5年度指導医認定者数	98名
令和6年3月末現在指導医数	1,467名

1 3. 研修施設の認定

令和5年度研修施設認定数	46施設
令和6年3月末現在研修施設数	698施設

14. リハビリテーション医学啓発活動

令和5年度市民公開講座を次のとおり開催した。

- (1) 令和6年2月1日～29日 仙台市（オンデマンド配信）
- (2) 令和6年2月17日 高知県（高知大学医学部実習棟3階）

15. 学術研究の奨励

- (1) 国内誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」に掲載された論文のうち最優秀論文、優秀論文各1編を表彰した。
- (2) 国際誌「Progress in Rehabilitation Medicine」に掲載された論文のうち最優秀論文、優秀論文各1編を表彰した。
- (3) 国際誌「Progress in Rehabilitation Medicine」の査読回数が多かった上位5名を表彰した。
- (4) 国際誌「Progress in Rehabilitation Medicine」の過去2年の間に引用回数が多かった上位5編の論文を選出し公表した。
- (5) 海外研修補助の補助金を1名に支給し、若手海外研修特別補助は対象者なしとした。
- (6) 外国人リハビリテーション科医への短期交流研修補助は対象者なしとした。

16. 国際誌のインパクトファクター獲得に向けた活動

国際誌のインパクトファクター獲得にむけ、Emerging Sources Citation Indexへ収載申請を行い、現在審査中である。また、国際誌の論文を広く知ってもらうために、委員会公式X（旧Twitter）での論文紹介、Top cited articleの公表などの広報活動に努めている。

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。